

12月ふれあい会だより

この町に「巨大地震が来たら？」みんなで考えてみましょうをテーマに学習会を行いました。区から防災担当の方（斎藤係長、萬上担当のお二人）をお招きして、**九品仏地区での想定される災害の状況**と、その対策。宮城県南三陸町での救援ボランティアの体験のお話をスライドを交えてしていただきました。

また、横山会長からは**奥沢の地層のお話**と、液状化現象との関連について、るる説明がありました。大変貴重なお話で2時間の学習会が瞬く間に終了しました。

最後に私から一言、災害が発生したら「**自分の命は自分で守る**」ことを忘れずに。（長田）

感想・意見

- この地域は比較的古い家屋が多く、世田谷区の平均と比較して少し倒壊危険度が高いと伺って心しなければと思いました。
- 配っていただいた資料は具体的な注意事項がわかりやすく書かれていて、目に付くところに置いて油断しないように心得ておこうと思いました。
- 防災無線について、1度も放送を聴いた事がないとの発言がありました。問題ではあるが原因は不明。

NEW 知ってお得な防災あれこれ 1 ー災害時に生きのびるためにー

防災は普段の準備が大切と云う事で、地震に対し日頃どんなところに注意をして準備をしたらよいか、これからシリーズでお話を進めたいと考えています。

1. 家具の転倒や・移動から身を守るには

地震の時に家具が倒れてきて、また家具が動いてきて挟まれてケガ、悪くすると致命傷になる事は、聞いておられると思います

では、どうしたら防げるのでしょうか、完全に防ぐことは難しいと思います。でも、転倒や移動を遅らせて、逃げたり・よけたりする時間を稼ぐ事は出来るはずです。

先ず次の点をしらべてみましょう

- ①家具、特にたんす・棚類が、高さの割に奥行きが狭く不安定ではありませんか？
- ②じゅうたん・たたみなどやわらかい床の上に置いていませんか？

この場合は転倒の危険は大ですが、板敷きなど硬い床に比べて移動の危険は少ないそうです。

①②の場合は家具の前縁に「ふんばるくん」などくさび型のものを入れて前を起して後ろに倒れる

ようにしてやるのが効果があります。かたい床の場合は家具の移動を抑えてくれます。

- ③重い物をたんすとか棚の上段に置いていませんか？

出来るだけ重心が低くなるよう工夫して収納しましょう。

これだけでもかなり危険度は減るはずです。